

羽村市で、今年10月から

木造住宅の耐震診断補助

実現!

市に、問い合わせは6件



阪神・淡路大震災や新潟・中越大地震などの教訓から、家屋の倒壊による犠牲者を出さないために、日本共産党はこれまでも震災対策を求めてきましたが、羽村市は、平成18年10月から、木造住宅耐震診断の一部補助を実施します。10月1日以降現在までに、市に問い合わせが6件あったそうです。

18年度は、耐震化促進計画の策定、木造住宅耐震改修補助制度の検討をすることになっています。

マンションなどへの助成も含め、耐震対策の拡充を引き続き求めていきます。

耐震診断に要する経費の一部が補助...上限は5万円 1981年(昭和56年)以前に建築された木造住宅

耐震診断は、市が診断員を紹介して行うこととなります。希望する方は、直接、羽村市役所の市民生活安全課にお出かけください。

補助対象住宅 1981年(昭和56年)以前に建築された2階建以下の一戸建て住宅(延べ床面積の2分の1以上を住宅としているもので、賃貸住宅を除く)

補助対象者 (1)市内に住所を有し、補助対象住宅を所有している方。(所有者が共有の場合は共有者全員によって合意された代表者)

(2)市に納付すべき市税および国民健康保険税を完納している方。

補助金の交付額 耐震診断に要する経費の2分の1。上限5万円です。

市では電話や訪問による住宅の耐震診断や改修のあっせんは行っていません。ご注意ください。

赤旗まつり 11/3(祝)4(土)5(日) 東京・夢の島公園

羽村では4日、福生といっしょに大型バスで赤旗まつりに行きます。バスの乗車時間は、羽村市役所に7時40分、羽村駅7時50分です。バス代2500円です。

赤旗まつりのチケットのお求め、バスの予約は、市議団へご連絡を

中原まさゆき TEL 554-1163、高橋みえ子 TEL 555-1911、市川えい子 TEL 554-1140



2006年10月22日 No.821 日本共産党羽村市議団のホームページ
発行 羽村民報編集委員会 http://www.jcphamura.org/
責任者 野崎 衷 市議団控室 電話/FAX 579-1163

道路や道路環境の改善を

9月議会一般質問

高橋みえ子議員の上記の一般質問の要旨をお知らせします。

武蔵野小学校近くの交差点の

信号待ちスペースの改善を

市長答弁 警察と協議をして対応を検討していきたい。



東児童館近くの交差点は信号がなく危険 安全対策を

市長答弁 児童館や学校で児童に、交差点を横断する際の注意やマナーを指導する。注意を喚起する看板の設置についても警察と協議していく。

学校周辺の安全点検を

市長答弁 平成17年度には、学校周辺の双葉町地区で、道路に外側線を約1800メートル、平成18年度には、青空児童遊園前交差点に「自発光鋏」を設置している。



深夜は重量車両を規制して自動車騒音軽減を

市長答弁 重量車両については「道路運送車両法」や「道路交通法」で規制されており、車両を規制しての騒音軽減は困難。市は騒音軽減を図るため、水道道路の道路鋏を撤去。また、主要幹線道路について、低騒音舗装を計画している。

夜間の騒音測定を増やす考えは

市長答弁 騒音測定については、昼間は5カ所で行っている。西小学校前とスポーツセンター前の2カ所は、年2回、24時間測定を実施している。

夜間の測定箇所の追加については検討したい。

救急車や消防車が通れないような狭い道の改善を

市長答弁 市民から相談を受けた場合は、まず、交通安全や災害対策の面で早急に整備の必要があるか等調査を行い、沿道土地所有者の方々の協力が得られる見通しがあれば拡幅事業に取り組みたいと考えている。